

平成 30 年度「日本遺産」の認定について

1. 発表概要

文化庁は、平成 30 年 4 月 17 日及び 24 日に開催された「日本遺産審査委員会」の審査の結果、全国の自治体から提案のあった 76 件の中から 13 件を平成 30 年度の「日本遺産」に認定しました。

兵庫県では、平成 27 年の篠山市、平成 28 年度の淡路市・洲本市・南あわじ市、平成 29 年度の姫路市・福崎町・市川町・神河町・朝来市・養父市、及び篠山市が認定されており、今年度は以下の市町が日本遺産の認定内容の変更により追加認定されたのでお知らせします。

なお、文化庁では、平成 27 年度から「日本遺産」の認定制度を整備しており、2020 年の東京オリンピックまでに 100 件程度認定を予定しています。

○内容変更により追加認定された日本遺産の概要

(申請自治体)

神戸市、高砂市、赤穂市、洲本市、新温泉町など、全国で計 27 市町を追加認定（平成 29 年度に山形県酒田市が代表で 11 市町が申請。結果、計 38 市町となる。）

(タイトル)

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～」

(ストーリーの概要)

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。

そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。

また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

2. 全国の状況

申請：305 件（H27 年度 83 件、H28 年度 67 件、H29 年度 79 件、H30 年度 76 件）

認定：67 件（H27 年度 18 件、H28 年度 19 件、H29 年度 17 件、H30 年度 13 件）

3. その他の申請状況（兵庫県内。今回は落選したもの）

申請者	ストーリーのタイトル
宝塚市、加東市、加西市、姫路市、 ◎大津市など（計24市町）	観音巡礼の根源・西国三十三所観音巡礼 ～1300年間継承されてきた「巡礼」の原風景
◎赤穂市	瀬戸内海の「白い宝石」・塩 ～潮を煮て業とした塩の国播州赤穂～
香美町、新温泉町、◎鳥取市、岩見町、若狭町、智頭町、八頭町	日本海の風が創り出す絶景 ー幸せを呼ぶ霊獣・麒麟 ^{きりん} が舞う大地「因幡・但馬」
宍粟市、◎美作市、西栗倉村	国境の秘境で生まれた異能集団の技と文化 ー宗教と異能集団を迫体験ー
南あわじ市、◎徳島県（徳島市、鳴門市）	三つの潮流が渦巻く「鳴門」 ～日本でただ一つの「鳴る瀬戸のまち」～

◎はとりまとめ県市

① 申請者	北海道函館市、松前町、青森県鰺ヶ沢町、深浦町、 秋田県秋田市、◎山形県酒田市、新潟県新潟市、 長岡市、石川県加賀市、福井県敦賀市、南越前町、 北海道小樽市、石狩市、青森県野辺地町、 秋田県にかほ市、男鹿市、能代市、由利本荘市、 新潟県佐渡市、上越市、富山県富山市、高岡市、 石川県輪島市、小松市、福井県坂井市、小浜市、 京都府宮津市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、 高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、鳥取県鳥取市、 島根県浜田市、岡山県倉敷市、広島県尾道市、呉市	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。 これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名	酒田市 総務部 市長公室 井上裕太		
電 話	0234-43-8277	FAX	0234-26-3688
E-mail	koshitsu@city.sakata.lg.jp		
住 所	〒998-8540 山形県酒田市本町2丁目2番45号		

ストーリー

江戸時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西廻り航路は経済の大動脈であり、この航路を利用した商船は北前船と呼ばれました。北前船は、米をはじめとした物資の輸送から発展し、船主自身が寄港地で仕入れた多種多様な商品を、別の寄港地で販売する買い積み方式により利益をあげたことから「動く総合商社」と形容されています。日本海や瀬戸内海沿岸に残る数多くの寄港地・船主集落は、北前船の壮大な世界を今に伝えています。

山を仰ぐ港と山に抱かれる港

北前船が寄港する港にはどんな特徴があったのでしょうか。立地から見ると大きく二つに分けられます。

一つは、山を借景として大きな川の河口に位置する「山を仰ぐ」港です。日本海から仰ぐ名山は、古くから航海の目印となり、その近くに港を築いています。これらの港は江戸時代には、上方への年貢米の積出港となり、領内の穀倉地帯を流れる大河の河口に米倉、番所などが整備されました。名山を仰ぎ大河に抱かれる港が、日本海を経由して



山を仰ぐ港（酒田市）

北日本と上方を結ぶ西廻り航路の基盤となり、各地へとつながりました。そこでは、夕日に輝く雄大な自然と港が一体化する名画のような景色や、山から見下ろす美しい港のパノラマに出会うことができます。

もう一つは、山と海の間のおずかな平坦地に位置する「山に抱かれる」港です。一度の航海で巨万の富が得られる北前船が頻繁に行き交うようになると、風待ち港も含め多くの寄港地が整備されました。砂丘の多い日本海沿岸では、山と海に挟まれたわずかな平坦地を利用し、コンパクトな港や集落を築いています。古い建物や荷揚場、船止めの杭など、北前船によりもたらされた、文化遺産が集約された町並を歩いて回ることができます。



当時の町の賑わい（松前町）

一攫千金・のこぎり商いが育んだ港町

北前船での商いはなぜ、大きな利益が得られたのでしょうか。それは、当時の国内の地域間価格差によるためです。例えば、北海道で大量に獲れる鮭は、西日本では綿を栽培するための肥料として高く売れました。一方、西日本と北日本で衣類の生産技術の差から、西日本の古着が北日本では高価な商品となりました。上方に鮭を売って空になった船に古着を積み込み、北日本で売る、押して引いて木を切るのこぎりのように行きも帰りも商売をする北前船は「のこぎり商い」とも呼ばれました。



港を中心とした特徴的な町割り（酒田市）

一航海千両、と言われた北前船が生み出す富は莫大であり、藩と連動して年貢の積み出しを行う大きな港のみならず、人口の少ないコンパクトな港や集落にも経済的繁栄をもたらしました。

北前船により発展した港には、廻船問屋や商家、蔵など、大規模な建物が残されています。町は、小路に沿って家が軒を連ね、小路はそのほとんどが海に向かう特徴的な町割りを見せています。船乗りにならざと

解放を与えた花街や、日和を見た小高い山、航海の安全を祈った神社仏閣など、北前船がもたらした機能が整えられています。そこには、封建下にあつて近隣の稲作を中心とした農村や、その基盤上にある城下には見られない、海上輸送という手段を手にした商人たちの築いた町があります。想像もできないほど高い塀や、敷地内に多くの土蔵を持つ豪壮な屋敷を見て、「こんな所になぜ、こんな大きなお屋敷が」と言った、驚きや発見に出会うことができます。



船主達が築いた町（加賀市）

「板子一枚下は地獄」に生きた男たちが運んだもの・残したもの

熟練の操船技術を持つ船乗りにとっても、嵐にあえば「板子一枚下は地獄」の恐怖にさらされます。商品を無事に運べば多額の利益を得られる北前船も沈んでしまえば一巻の終わり、全財産を失う船主もいました。危険と隣り合わせの航海は、安全を神仏の庇護に求め、寄港地の中心や小高い丘には神社や寺院があり、港と並行に寺院が建ち並ぶ町もあります。ここでは、航海の無事を祈願した船絵馬や船模型、中にはちょんまげを奉納した「髻額」が奉納されています。また、境内には遠く離れた国名や問屋名



危険な航海の様子（加賀市）

が刻まれた玉垣、石灯籠、手水鉢などが寄進されています。船を安定させる底荷・バラストとして運ばれた石の中には、神社や参道の石段に利用され、雨に濡れると神秘的な輝きを見せる笏谷石があります。社寺には船主や問屋らが寄進した、良質な木材を使用し優美な彫刻を持つ社殿や堂宇も見られ、船乗りが神輿を寄進したことを起源とした祭り、京都から伝わったとされる祭りも行われています。

北前船の寄港地・船主集落にある格調の高い神社仏閣の多くは、北前船の船主、船乗りらの篤い信仰に支えられていたことが分かります。

北前船が帆を上げて現代に残した文化交流

北前船は生活必需品に加え、雛人形などの高級品、そして様々な文化を運んでいます。天候に左右される北前船の航海は、「風待ち」という文化により、出港までの間、料亭や茶屋などでの一時の出会いと別れと共に、そこで唄われる民謡など各地の芸能が船乗りたちによって伝わっていきました。代表的なのが、「おけさ」や「あいや節」などと呼ばれる哀調を帯びた節回しを持つ民謡です。この民謡は熊本で生まれた「ハイヤ節」が船乗りの間で歌い継がれ、北前船により日本海沿岸の港町に広まり、各地に根付いた芸能として親しまれています。



今でも賑わう港の祭り（秋田市）

和食を代表する「昆布だし」食文化も生まれました。北海道から京都や大阪に運ばれた物に昆布があります。この地で昆布は「昆布だし」に磨かれ、日本のだし文化として現代の和食の基本になっています。他には凍結に強い赤瓦が運ばれたことにより、北国の防災力が向上し、綿の肥料となる鯡や古着が行き交うことにより、衣服の質が格段に良くなりました。北前船は日本人の衣・食・住の生活環境向上に大きな役割を果たしたのです。

歴史の魅力を持つ町は数多くありますが、北前船の寄港地・船主集落は、立地や町のつくり、祭り・芸能や神社仏閣の雰囲気など、他の「歴史の息づく町」とはかなり違う趣を感じることができます。そこは、日本海の荒波を越え、人・物・文化を運んだ多くの男たちの夢が紡いだ歴史情緒に出会える異空間なのです。

**平成27年度、平成28年度及び平成29年度認定「日本遺産(Japan Heritage)」の
認定内容の変更**

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)		変更事項	変更箇所
1	滋賀県	◎滋賀県(大津市、彦根市、 近江八幡市、高島市、東近 江市、米原市、長浜市)	琵琶湖とその水辺景観一 祈りと暮らしの水遺産	申請自治体	【追加】 草津市、守山市、野洲市
				構成文化財	【追加】 「芦浦観音寺」(草津市) 「草津のサンヤレ踊り(矢倉・下笠・片岡・長束・志那・吉田・志那 中)」(草津市) 「大庄屋諏訪家屋敷」(守山市) 「近江のケンケト祭り・長刀振りの鮒ずし切りの神事」(守山市) 「慈眼寺」(守山市) 「守山の湧水とホテル」(守山市) 「兵主大社とハケ崎神事」(野洲市)
2	宮城県	◎宮城県(仙台市、塩竈 市、多賀城市、松島町)	政宗が育んだ“伊達”な 文化	構成文化財	【追加】 「勝画楼」
3	千葉県	◎千葉県(佐倉市、成田 市、香取市、銚子市)	北総四都市江戸紀行・江 戸を感じる北総の町並み	構成文化財	【追加】 「加賀清水」 「武術立身流」 「紫裾濃胴丸」 「古今佐倉真佐子および総州佐倉御城内之図」 「土井利勝父母夫人供養塔」 「親福寺(銅造十一面観音坐像)(地藏菩薩坐像)(薬師如来坐 像)(釈迦如来坐像)(伊能忠敬墓)」 「香取神道流(天真正伝香取神道流始祖飯篠長威斎墓)(武 術天真正伝香取神道流)(天真正伝香取神道流道場)」 「初代松本幸四郎墓」 「大杉神社」 「外川ミニ郷土資料館」 「銚子ちぢみ伝統工芸館」 「萬祝式大漁旗」 「小澤染工場額賀屋染工場」 「旧西廣家住宅(治郎吉)(主屋、缶詰工場、倉庫(北倉)、倉 庫(南倉)、煉瓦塀)」 「杓粕及び干鰯製造関係資料・漁業の道具」
4	神奈川 県	伊勢原市	江戸庶民の信仰と行楽 の地 ～巨大な木太刀を 担いで「大山詣」～	構成文化財	【位置づけ変更】 「大山道の道標」を「未指定」から「市登録(一部・有形民俗)」 に変更 「大山こま」を「未指定」から「市指定(製作技術・無形民俗)」 に変更等 「宝城坊(日向薬師)の神木のぼり」を「未指定」から「市登録 (無形民俗)」に変更
5	鳥取県	◎大山町・伯耆町・江府 町・米子市	地藏信仰が育んだ日本 最大の大山牛馬市	ストーリー	【字句修正】 「はまなんご神事」→「池さん神事」
				構成文化財	【位置付け変更】 「大山寺本堂」を「未指定」から「国登録有形(建造物)」に変更 「はまなんご神事(硯ヶ池)」を「池さん神事(硯ヶ池)(いけさん しんじ(すずりがいけ))」に変更
6	島根県	◎雲南市・安来市・奥出雲 町	出雲國たたら風土記 ～鉄 づくり千年が生んだ物語～	構成文化財	【追加】 「富田城跡」

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)		変更事項	変更箇所
7	神奈川県、 広島県、 長崎県、 京都府	◎横須賀市(神奈川県)・ 呉市(広島県)・佐世保市 (長崎県)・舞鶴市(京都 府)	鎮守府 横須賀・呉・佐世 保・舞鶴 ～日本近代化 の躍動を体感できるまち ～	構成文化財	【名称変更】 記念艦三笠(海上自衛隊横須賀地方総監部 旧三笠保存所) →記念艦三笠(海上自衛隊横須賀地方総監部 旧三笠艦保 存所) 海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎(旧呉鎮守府庁舎)地区 内のれんが建物群 →海上自衛隊呉地方総監部第一庁舎(旧呉鎮守府庁舎)、 地区内のれんが建物群及び旧地下作戦室(旧呉鎮守府司 令部地下壕) 鎮守府のラッパ →ラッパ君が代
8	北海道、 青森県、 秋田県、 山形県、 新潟県、 石川県、 福井県	北海道函館市、松前町、 青森県鰺ヶ沢町、深浦 町、秋田県秋田市、◎山 形県酒田市、新潟県新潟 市、 長岡市、石川県加賀市、 福井県敦賀市、南越前町	荒波を越えた男たちの夢 が紡いだ異空間 ～北 前船寄港地・船主集落～	申請自治体	【追加】 北海道小樽市、石狩市、青森県野辺地町、秋田県にかほ 市、男鹿市、能代市、由利本荘市、新潟県佐渡市、上越市、 富山県富山市、高岡市、石川県輪島市、小松市、福井県坂 井市、小浜市、京都府宮津市、大阪府大阪市、 <u>兵庫県神戸 市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、鳥取県鳥取市、島 根県浜田市、岡山県倉敷市、広島県尾道市、呉市</u>
				ストーリー	【修正】 ＜ストーリーの概要＞ 日本海沿岸には日本海や瀬戸内海沿岸には 、山を風景の一 部に取り込む港町が点々とみられます。 ＜ストーリー＞ 日本海沿岸を中心に日本海や瀬戸内海沿岸に残る数多くの 寄港地・船主集落は、北前船の壮大な世界を今に伝えてい ます。
				構成文化財	【追加】 別紙のとおり
9	埼玉県	行田市	和装文化の足元を支え 続ける足袋蔵のまち行 田	構成文化財	【追加】 「慶長17年武蔵国酒巻村年貢割付状」 「奥貫家土蔵」 「笠原家住宅」 「行田音頭」 「楽屋足袋蔵」 【名称変更】 「大澤家住宅旧文庫蔵」 →「大澤家住宅旧文庫蔵・住宅・土蔵」 「足袋蔵まちづくりミュージアム(栗代蔵)」 →「くりだいぐら」のルビ追加 「Café閑居・足袋蔵ギャラリー門・足袋蔵パン工房・クチキ建 築設計事務所・土蔵」→「Café閑居・足袋蔵ギャラリー門・パ ン工房KURA・クチキ建築設計事務所・土蔵」 「旧荒井八郎商店事務所兼住宅・大広間棟・洋館」 →「旧荒井八郎商店事務所兼主屋・大広間棟・洋館」 【位置付け変更】 「初午祭り」のストーリーの中の位置づけの文章の「～風物誌 となっている。」を「～風物詩となっている。」に変更 「イサミコーポレーション足袋工場」のストーリーの中の位置 づけの文章を「～木造洋風足袋工場。」から「～木造洋風足 袋工場と元食堂。」に変更 【場所変更】 「旧忍町信用組合店舗」
10	京都府	◎京都府(宮津市、京丹 後市、与謝野町、伊根町)	300年を紡ぐ絹が織り成 す丹後ちりめん回廊	ストーリー	【修正】 当時のちりめんによる繁栄が <u>みや人々の生活が</u> 、華やかな 12台の屋台が巡行する三河内曳山行事や後野・算所・加悦 の屋台巡行、 <u>丹後ばらずし</u> などの「 <u>丹後ちりめん</u> 」が育んだ 祭礼行事や食文化として継承されている。
				構成文化財	【追加】 「吉村家住宅」 「吉村家別荘(桜山荘)」 「網野神社 豊織神社」 「丹後ちりめん岩屋踊り」 「丹後ばらずし」 【名称変更】 「加悦・算所の屋台行事」 →「加悦谷祭の加悦・算所の屋台巡行」

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
29-①	こうべだいがくかいじはくぶつかん 神戸大学海事博物館 きたまえふねしゅうぞうしりょう 北前船収蔵資料	未指定	北前船の和船模型をはじめ、和船の部分実物、船大工の板図や大工道具類、航路図や海路図屏風、絵馬など。	兵庫県神戸市
29-②	みぬめ じんじゃ べんざいせん 敏馬神社「弁財船 えま 絵馬」	市指定有形 (民俗)	北前船の船主らが航海安全を祈願して奉納した。	兵庫県神戸市
29-③	こうべかいようはくぶつかん 神戸海洋博物館 きたまえふねしゅうぞうしりょう 北前船収蔵資料	未指定	北前船のイカリや船筆筒、ハカリ、筆箱など。	兵庫県神戸市
29-④	たかだやか へ えけんじょう 高田屋嘉兵衛 献上 灯籠	未指定	北前船で財をなした高田屋嘉兵衛が海上交通安全を祈って献上した灯籠。	兵庫県神戸市
29-⑤	くらくま つ えもん はか 苦楽松右衛門の墓	未指定	北前船の船主であり、帆布の製造法を発明した工楽松右衛門の墓。	兵庫県神戸市
29-⑥	たかだやか へ えほんてん 高田屋嘉兵衛本店 あとち 跡地	未指定	北前船で財をなした高田屋が商売の拠点をおいた店舗跡。	兵庫県神戸市
29-⑦	まいこえんめいじぞう 舞子延命地藏 (たたき地藏)	未指定	北前船で財をなした北風荘右衛門などが航海の安全を祈願して造営した地藏。	兵庫県神戸市

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
30-①	くらくまつえもんきゆうたく 工楽松右衛門 旧 宅	市史跡	北前船船主であり、帆布の製造法を発明した 工楽松右衛門の旧宅。	兵庫県高砂市
30-②	たかさごほりかわいせき 高砂堀川遺跡	未指定	北前船が寄港した高砂港の物流をになった 堀川遺構。	兵庫県高砂市
30-③	たかさごちくれきしてきけいかん 高砂地区歴史的景観 けいせいちく 形成地区	未指定	江戸時代の町割りに町屋・社寺・近代建築等 が建ちならぶ。北前船も寄港した港町。	兵庫県高砂市
30-④	じょうやとう 常夜灯（高砂神社）	未指定	北前船も寄港した高砂港の高砂神社にある 常夜灯。	兵庫県高砂市

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
31-①	ひよりやま 日和山	未指定	北前船の船乗りたちが出港前に日和を見た場所。常夜灯の一部が現存する。	兵庫県 新温泉町
31-②	いよなが じんじゃ 為世永神社	未指定	北前船の船主や船乗りたちが航海の安全を祈願した神社。全国の船主が寄進した玉垣、灯籠がある。	兵庫県 新温泉町
31-③	しょごくさんりゅうまんじ 諸谷山龍満寺	未指定	諸寄港沖で難波した北前船の乗組員たちを弔った寺院。	兵庫県 新温泉町
31-④	ひがしふじた け おもや 東藤田家母屋	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・藤田家の邸宅。	兵庫県 新温泉町
31-⑤	ちゅうふじた け おもや 中藤田家母屋	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・藤田家の邸宅。	兵庫県 新温泉町
31-⑥	みちもりけ おもや 道盛家母屋	未指定	北前船で財をなした廻船問屋・西川家の邸宅。	兵庫県 新温泉町
31-⑦	きたまえぶねけいりゅうくいあと 北前船係留杭跡	未指定	北前船が安全に入港・出港する際に利用した杭の跡。	兵庫県 新温泉町
31-⑧	いよなが じんじゃ れいさい 為世永神社例祭 ぎおん まつり・きりん ししまい (祇園祭・麒麟獅子舞)	町無形 (民俗芸能)	北前船で財をなした廻船問屋たちが財政支援し、現代まで伝えられている京都祇園祭に由来する祭礼。	兵庫県 新温泉町
31-⑨	いよなが じんじゃ ふなえま 為世永神社船絵馬	町有形 (絵画)	北前船の船主や船乗りが航海安全を祈願して奉納した。	兵庫県 新温泉町
31-⑩	きたまえぶねこう ろ ず 北前船航路図	町有形 (絵画)	北前船の船頭をしていた日浦家に伝わる航路図。	兵庫県 新温泉町
31-⑪	きたまえぶねせんめいがく 北前船船名額	町有形 (工芸)	廻船問屋をしていた石塚家の北前船に掲げられていた船名や祝語を記した額。	兵庫県 新温泉町

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
32-①	さこし 坂越の町並み	未指定	北前船により繁栄した坂越港周辺の古い町並み。	兵庫県赤穂市
32-②	きゅうさこしうらかいしよ 旧坂越浦会所	市有形 (建造物)	北前船寄港地・坂越浦の船舶管理を行っていた会所。	兵庫県赤穂市
32-③	おおさけ 大避神社奉納物	未指定	廻船業者が航海安全を祈願して奉納した船絵馬・石造物（灯籠・鳥居など）等。	兵庫県赤穂市
32-④	くろさきぼしよ 黒崎墓所	県史跡	航海中に死亡した人を埋葬した場所で、出羽・越後・能登など北前船に関連する人物が確認できる。	兵庫県赤穂市
32-⑤	いきしま 生島	未指定	坂越湾に浮かぶ小島で、寄港した北前船の廻船が風よけとして島影を利用。	兵庫県赤穂市
32-⑥	ふなちんざんじょうほう 船賃銀定法	市有形 (古文書類)	坂越を起点に全国 72 港までの船衆賃銀が板に朱漆書きされたもので、廻漕先には、北前船の活動範囲が記されている。	兵庫県赤穂市
32-⑦	さこし ふなまつり 坂越の船祭	国無形民俗	かつては廻船の水主達が船団を曳航する櫓伝馬の漕ぎ手を務めるなど、近世廻船業の繁栄とともに伝承されてきた。	兵庫県赤穂市

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
33-①	つし はちまんじんじゃほうのうぶつ 都志八幡神社奉納物	未指定	北前船の船乗りに崇拜され、石灯籠が奉納される。また、高田屋嘉兵衛がロシアに捕えられた際、無事を祈願して寄進された隨身門がある。	兵庫県 洲本市
33-②	高田屋嘉兵衛邸宅跡	未指定	北前船で財をなした豪商高田屋嘉兵衛の邸宅跡。	兵庫県 洲本市
33-③	つし 都志の町並み	未指定	北前船主たちが軒を連ねた港町に、江戸時代の地割りを伝える細い路地が残る。	兵庫県 洲本市
33-④	高田屋関連資料群	未指定	北前船主・高田屋の北前船に関連する資料群。	兵庫県 洲本市
33-⑤	つし はちまんじんじゃおんふなうた 都志八幡神社御船歌	未指定	北前船の船乗りに崇拜された都志八幡神社で奉納される船歌。	兵庫県 洲本市

構成文化財予定の写真一覧

29-① 神戸大学海事博物館



29-④ 高田屋嘉兵衛献上灯籠



29-② 敏馬神社「弁財船絵馬」



29-⑤ 苦楽松右衛門の墓



29-③ 神戸海洋博物館



29-⑥ 高田屋嘉兵衛本店跡地



構成文化財予定の写真一覧

29-⑦ 舞子延命地蔵



29-⑦ 舞子延命地蔵玉垣

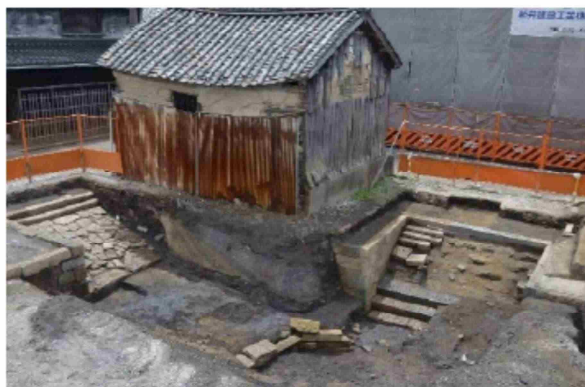


構成文化財予定の写真一覧

30-① 工楽松右衛門旧宅



30-② 高砂堀川遺跡



30-③ 高砂地区歴史的景観形成地区



30-④ 常夜灯 (高砂神社)



構成文化財予定の写真一覧

31-① 日和山



31-④ 東藤田家母屋



31-② 為世永神社



31-⑤ 中藤田家母屋



31-③ 諸谷山龍満寺



31-⑥ 道盛家母屋

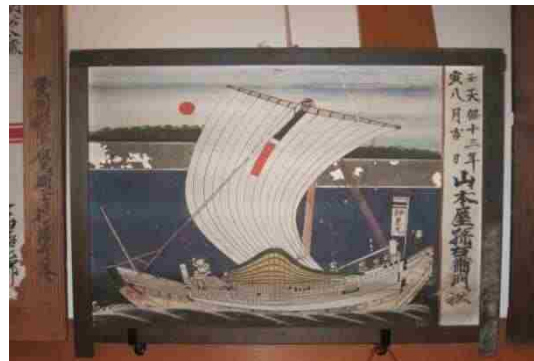


構成文化財予定の写真一覧

31-⑦ 北前船係留杭跡



31-⑨ 為世永神社船絵馬



31-⑧ 為世永神社例祭



31-⑩ 北前船航路図



31-⑪ 北前船船名額

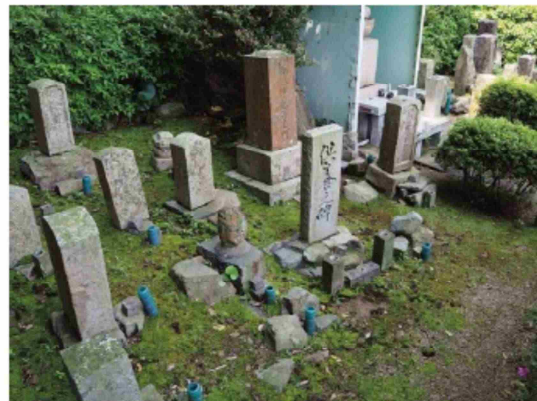


構成文化財予定の写真一覧

32-① 坂越の町並み



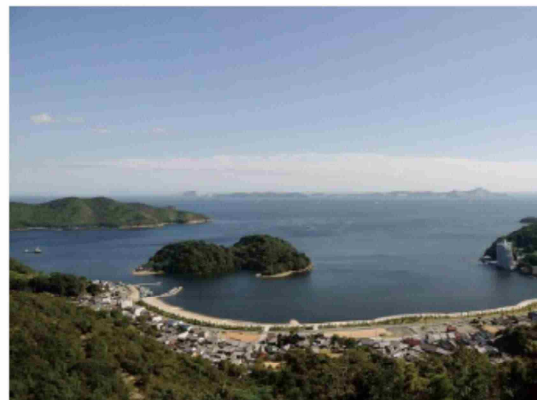
32-④ 黒崎墓所



32-② 旧坂越浦会所



32-⑤ 生島樹林

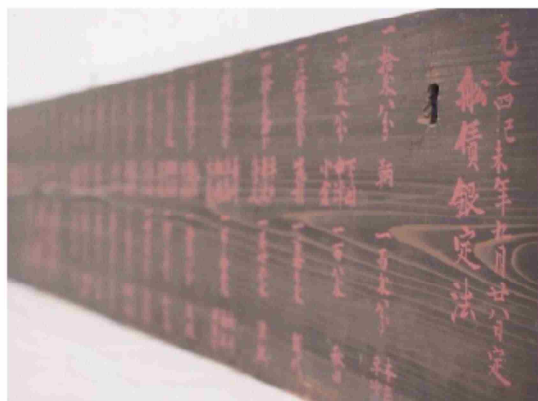


32-③ 大避神社



構成文化財予定の写真一覧

32-⑦ 船賃銀定法



32-⑨ 坂越の船祭

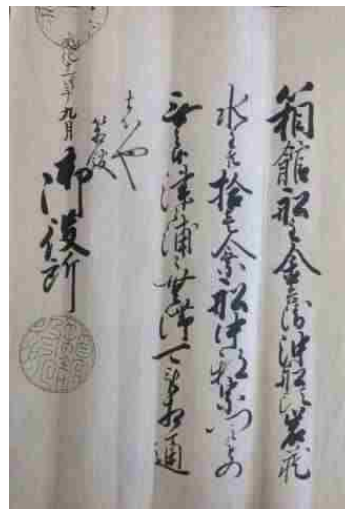


構成文化財予定の写真一覧

33-① 都志八幡神社奉納物



33-④ 高田屋関連資料群



33-② 高田屋嘉兵衛邸宅跡



33-⑤ 都志八幡神社御船歌



33-③ 都志の町並み



平成30年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定一覧

番号	道県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町	カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～
2	山形県	◎山形県(山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町)	やまでら ^{べにばな} 山寺が支えた紅花文化
3	栃木県	宇都宮市	地下迷宮の秘密を探る旅 ～大谷石文化が息づくまち宇都宮～
4	栃木県	◎那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町	明治貴族が描いた未来 ～ ^{なすの} 那須野が ^{はら} 原開拓浪漫譚～
5	富山県	南砺市	宮大工の ^{のみ} 鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波
6	山梨県	◎山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)	葡萄畑が織りなす風景ー山梨県峡東地域ー
7	長野県、山梨県	◎長野県(茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村)、山梨県(甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市)	星降る中部高地の縄文世界ー数千年を ^{さかのぼ} る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅ー
8	静岡県、神奈川県	静岡県(◎三島市、函南町)、神奈川県(小田原市、箱根町)	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道ー ^{はこねはちり} 箱根八里で ^{たど} 辿る ^{はる} 遙かな江戸の旅路
9	和歌山県	広川町	「百世の ^{あんど} 安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
10	岡山県	◎岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が ^{いざなう} 誘う鬼退治の物語～
11	広島県	福山市	瀬戸の ^{ゆうなぎ} 夕風が包む 国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む ^{とも} 鞆の ^{うら} 浦～
12	大分県	◎豊後高田市、国東市	鬼が仏になった里「くにさき」
13	宮崎県	◎西都市、宮崎市、新富町	古代人のモニュメントー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観ー